

のぞみが丘小学校区・三国小学校区防犯パトロール「ついで隊」(福岡県)

皆さん、初めまして。のぞみが丘小学校区・三国小学校区防犯パトロールついで隊の代表をしております樋口といいます。どうぞよろしくお願いいたします。今、緊張しています。トップバッターということで、しかも、3年ぶりの開催ということで、とっても緊張しているわけなんですけども、佐賀のほうの防犯フォーラムに発表できるこの喜び、メンバーに報告したときに、すごい。本当に私たち、活動を発表していいの？ そんな声がたくさんありました。そのうちに、佐賀といえば佐賀牛やねと。そうやね、佐賀牛やね。佐賀牛、食べようと。結局、いつの間にか今日は防犯フォーラムから佐賀牛フォーラムにテーマの中身が変わっていたようです。本当に主催者の方、すみませんでした。



無理なく・楽しく 肩肘張らない防犯活動



のぞみが丘小学校区・三国小学校区
防犯パトロール「ついで隊」



のぞみが丘小学校区と三国小学校区



のぞみが丘小学校区と
三国小学校区は小郡市の北部

のぞみが丘小学校区

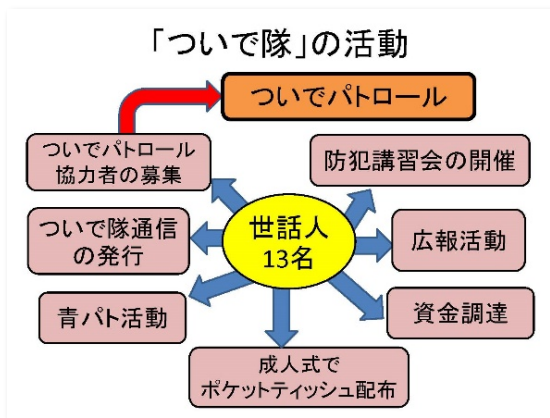
小郡・筑紫野ニュータウンとして
開発され、佐賀県に隣接した
新興住宅地域

三国小学校区

校区内に西鉄電車の三つの
駅があり、昔からの地域と
新興住宅地が混在する地域

それでは、活動に入らせていただきますけども。私たちついで隊、名前とこのカードを見れば、一目で何をされている活動だなということがお分かりだと思います。まさに散歩のついでにこのカードを掲げて、抑止効果目的として散歩しようという活動でございます。この写真は、立ち上げた当時、活動が実際に始まる前、試行錯誤しながら飲み会して帰るときに、将来を見据えて、歩きながら帰ってくる写真です。私の立ち上げ当時のお気に入りのワンショットの写真でございます。この写真は男性ですけど、女性のメンバーもいるんですけど。そういったことでございます。

まず、小郡市といえば、何だかんだと地理的にご存じの方、少ないと思いますんで、大体、小郡市というのはちょうど九州自動車と長崎自動車の間、へその部分ですね。交わったぐらいにありまして、小郡市の上部のほうのがのぞみ小学校区、三国小学校区ということになっております。その中で、のぞみ小学校区はニュータウンとして開発した新興住宅地です。三国小学校区内は西鉄電車が3つもあって、昔から地域と新興住宅地が折り合っている地域となっております。



活動の特徴

地域の自治会やまちづくり協議会とは連携を図りながらも、地域の組織には属さない

- ① **独立した組織**で
- ② 地域の**ボランティアスタッフ**による
- ③ **自主財源**で運営している。

ざっくり私たちの活動も紹介をさせていただきます。まず活動は、世話人 13 名が中心になって行っております。何をやっているか。防犯講習会の開催。つい先月、6 月にも開催しましたが、地域のかたがたを集めて防犯講習会を開催しています。年 1 回です。それに対して、広報活動。これは、ついで隊募集したりとか、後で話しますが、『ついで隊通信』、発行したりとか、いろんな総会、出て、ついで隊活動、紹介したりとか。あと次、資金調達。これも後で説明しますが、私たちは自己資金で運営しています。次、成人式でポケットティッシュを配布。これも広報活動の 1 つでありますけども、ついで隊のオリジナルポケットティッシュを作って、配布しています。青パト活動。『ついで隊通信』の発信。そして、これがメインですね。ついでパトロール協力者の募集。これを付けて参加しましょう。イヌの散歩をしてくださいよという協力を呼び掛ける。そして、実際、地域の皆さん全員が協力者なんですね。それがついでパトロールってことですね。これがざっくりした私たちの活動内容です。

活動の特徴なんですけども、私たちは地域の自治会やまちづくり協議会と連携を図りながらも、地域の組織には属さない、独立した組織が本当に特徴なんです。それと、純粋にボランティアスタッフだけの組織。そして、全てを自主財源で賄っているのが私たちの特徴であります。独立した組織、決して自治会やまちづくり協議会とけんかをしているとか、仲が悪いとか、そういったことは全くなくて、なんかあるときは総会とかでお願いをしたりとか、回覧もお願いしますし、逆に、私たちが地域の行事に呼ばれて、お手伝いをするときもあります。

「ついで隊」の発足

平成24年6月 発足準備
平成24年7月 元おやじの会、PTA経験者を中心に男女12名で発足

「ついで隊」発足の経緯 ①


小学校のPTA活動に8年間携わった経験とネットワークを活かして、地域に貢献できる活動をしよう！

PTA活動ではパトロール活動に深く関わったこともあり、...

パトロールを柱とした活動を模索

発足ですけども、24年6月に準備をいたしまして、同年7月には、おやじの会、PTA経験者を中心に、男女12名で最初は発足しました。一番左の写真が、発足当時の懇親会をしとる写真ですけども。こちら、真ん中が、よその団体が視察に来られたときに、一緒にした写真撮影。真ん中の写真撮影が、私たち世話人、掛ける13人、今、いると言いましたけども、本当に緩い団体で、会議とかも来られるときだけでいいよ。無理しなくていいよ。そんな緩い会なんですね。このとき、全員、来たんです。思わず記念撮影と思って撮ったワンショットらしいんですね。


発足の経緯。これ、私、PTA 活動、8 年間、携わっておりまして、その経験、何か継続して地域に関わりたい、そんな思いがありまして、PTA 活動ではパトロール活動にすごく携わっていたんですね。それで、パトロールを中心として活動、始めよう、そんな意気込みで、個人的にまず行動してきました。

「ついで隊」発足の経緯 ② 

パトロール活動の課題

↓ PTA活動の経験から

- ・日にち、時間を決めてのパトロールはメンバーが集まりにくい
- ・派手なパトロールは敬遠される

「ついで隊」発足の経緯 ③ 

3つのコンセプトで具体的な活動の検討


- ★ 日にちや時間を決めないパトロール
- ★ 日常を防犯に役立てる
- ★ 派手なグッズは装着しない

↓

地域内はウォーキングや犬の散歩をしている人が多いことに着目

そして、これまでの PTA 活動の経験から、なかなか日にち、時間、決めてのパトロールはメンバーが集まりにくい。この日は駄目だ。あの日は駄目だ。この辺りじゃこの 1 日に集中する。そんな経験をだいぶしました。そして、グッズを準備してもそれを手に取って歩いて、実際、装着してないとか、そんなところも何度も見まして、それが現実なんだと、そのときだいぶ痛感しました。

それで、私たちは日にちや時間を決めないパトロール、そして、日常を防犯に役立てる、派手なグッズは装着しないというところで、地域内をウォーキングしている方、イヌの散歩をしている方に着目して、活動してきました。この辺ぐらいからメンバーを少しずつ集めていったわけですね。メンバーといひますか、世話人 13 名と一緒に活動している人たちを集めていったわけですね。

「ついで隊」発足の経緯 ④ 

平成24年7月

散歩やウォーキング等している方に「ついで隊カード」を、掲げていただくだけの活動としてスタート

平成24年10月 のぞみ小校区で募集開始
平成25年10月 三国小校区で募集開始

「ついで隊カード」は 

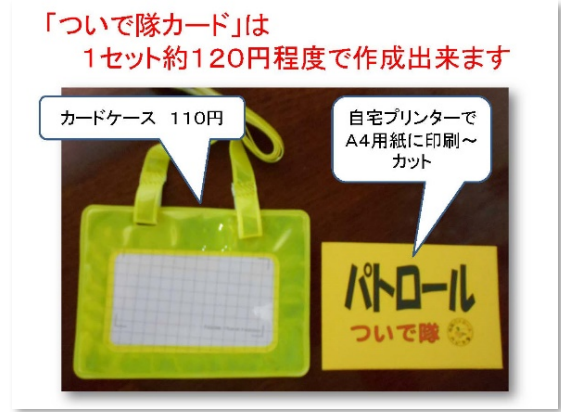
**目立つようで目立たない
目立たないようで目立つ**

の視点で、試作・試行巡回しながら作成



そして、平成 24 年 7 月、散歩やウォーキングしている方について隊カードを掲げていただくだけの活動としてスタートしました。24 年 10 月に募集開始、翌年 10 月に三国小学校区で募集を開始しております。

そして、『目立つようで目立たない 目立たないようで目立つ』の視点で、試行錯誤しながら試作したやつですね。作成しました。まずは左の写真ですけど、これは試行品のパトロールカードです。こちら、試行品は先ほど、最初に見た写真ですけども、その後、いろんな試行をさせていただきました。



最終的にできたのが一番左の下のほうですね。こちらが初代のパトロールカードで、蛍光反射材を貼って、こんな活動しました。そして、最初はワンパトグッズも、下にありますが、実際、こちらのほうは今はしていません。それでも当時、150 ぐらいの方には協力をしていただいています。最終的に今、こちら、グレードアップして、結構、夜とか光るんですね。で活動しています。

大体、カードケースで110円ぐらいですね。こちら、プリンターで印刷して、中に入れるだけ。中には多少、風が強かったら、結構、ぷらんとこうなったりするから、その段階で使用済みのカードみたいなやつをこの中に入れておけば重みが付いて、くるくるとしにくくなるということも今、含めて、アナウンスをしています。



実際、これ、ついで隊活動していただいている写真ですけども、ここでずっと歩いていて、写真、撮らせてくださいって撮らせてもらった。これ、通勤途中にしてもらっている写真ですね。これ、純粋にイヌの散歩中にしてもらっている写真です。

本当はこんなふうなイヌのリードに付けてされている方もいらっしやいます。



皆さん、これ、夜、本当、光るんですよ。そういった視点では、車とかにも夜道、大丈夫なんですね。

こうして自分の身を守るカードにも本当になっているみたいなんですね。

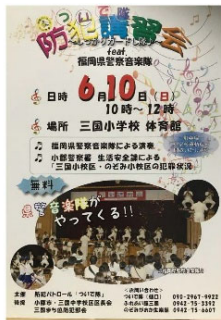
これは私も想定外の利用の仕方なんですけど、イヌに直接、付けてあったりとか、自転車の籠に付けてあったり。これ、自転車の籠に付けたら、意外とちっちゃいけど、目立つんですよ。黄色っていうのが目立つんですよ。黄色っていうのが目立つのかなというイメージを持っております。



ポイントなんですけども、私たちの活動は防犯活動パトロールというんですけども、パトロールをするのではなくて、不審者にパトロールしていると思わせる、要は、防犯意識が高い地域だと思わせることが目的としています。だから、よくパトロールしながら、不審者がおったら声、掛けてとか、電球が切れたらどうしようとか、子供たちがたまっとたら、どうしようとか、そんな取り決めもある団体もあるかもしれませんが、私たちはあえてそんなルールは一切、決めていません。声掛けやルートなど特別なルールは一切、決めない。散歩やウォーキングのついでについてついで隊カード、掲げてもらうだけ。気軽に参加しやすくなるのを目的としています。「明らかに犯罪人が来たら、どうするんですか」と言われたこと、あるんで、これを掲げてないときはどうされますか。警察に電話しなきゃ。そうでしょ。これをしょっちゅう掲げて、必ず110番が必要と思ったときは110番してくださいねというふうな説明をしております。

そして僕たち、1つの団体とか地域の方みんなに配布するってこと、あえてしないです。これ、例えば、こんな集まっていたら、その場で紹介していただきます。そして、理解してもらって、もし協力していただく方は、帰りのときに準備してますんで、お持ち帰りくださいという募集のやり方しています。要は、自分で自らやりますよって言った方にだけ無料で配布しているっていうところですね。正直言って、それでも、持って帰って、いざこれを付けようと思ったら、なかなか次の一歩に出る方はそのうちの2割、3割かもしれませんね。それでも徐々に増えていっているっていうのは非常にありがたいことだと思っています。効果ですけども、挨拶されることが増えた。こちらからも挨拶がしやすいです、これ、しとったら。こんにちは。おはようございます。こんばんは。何より、多分、男子諸君は経験あると思いますけども、夜道に黒い格好してマスクして歩いていたら、若い女性の方からよけられた。不審者に思われているなって感じられることないでしょうか。私、それが正直あるんです。別に人相が悪いと思ってないですけどね。でも、これをしたら、挨拶をしてきたこともあるんですよ。毎回じゃないですよ。本当に向こうから。これでされたなと思うんですね。これまでも、つい何日か前ですけども、メンバーの1人がたまたま、ずっとその活動していて、知り合いの方から「このカード、ください」と言われたそうです。それを渡して、その翌日か翌々日にはまたその方に連絡があって、「ありがとう。みんなから挨拶された。よかった。このカード、よかったね」ってお礼の電話があったそうです。それ、聞いて、本当によかったなと。まさにそこが私たちの狙いの1つなんですね。

★防犯講習会の開催・・・①



★防犯講習会の開催・・・②



★毎年6月第2日曜日に開催
前半の約1時間は小郡警察署から
地域の犯罪状況について説明



私たちは防犯講習会の開催も、さっき言いましたように、やっています。これは年1回、開催しているんですけども、県警音楽隊に来てもらって、してもらったりとか、これは落語 de 防犯講習会。なんで落語と音楽隊するかというと、ただ、防犯講習会しますよって言うても、人が集まらないんですね。ただ、町の自治会の総会の場で話すんじゃなく、私たちが単純に回覧とかチラシだけ配って、自然に集まってくる皆さんだけを対象にした防犯講習会なんです。それが防犯講習会というだけじゃなかなか正直、来てくれないんですね。でも、最初に来て、帰られるときには、来てよかった。聴いてよかった。素直に教えてくれます。あと、来てもらうためのきっかけづくりとして、落語だったり県警音楽隊、そんなことをやっています。

防犯講習会の前半には、地元の小郡警察さんから地域の犯罪状況について説明していただきます。なかなかこういった機会ないですね。地域でも空き巣が入っているんだ。夜の忍び込みが遭っているんだ。そこで初めて聞かされる方もいらっしゃるんですね。そういった視点で、よかったなって。アンケートしたら、みんな、よかったって。次はこんな話も聞きたいとこですね。そんな話も来ております。

★防犯講習会の開催・・・③

後半の約1時間は、アトラクションや
「ついで隊」の紹介＆募集等を行っています。



第4回 6回 落語de防犯講習会



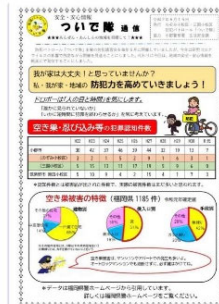
第5回 福岡県警音楽隊



ついで隊の紹介＆募集

★ついで隊通信の発行・・・①

第1号



そして後半は、最近アトラクションですね。落語だったり県警音楽隊。そして、他にも去年と一昨年は地域の劇団と協力して、防犯劇をしようということ計画したんですけど、コロナ禍でできなかったんですね。警察署からの話とこのアトラクションの間には、こういったついで隊の紹介の活動をしています。それと同時に、いろんな防犯活動してらっしゃる地域がありますから、その辺の団体の紹介もこの場でさせていただいております。

それと、コロナ禍で防犯講習会ができなくなったその年からなんですけど、防犯講習会ができなくなった。どうしよう。でも、皆さんがたに防犯に対して関心を持ってもらいたいな。そんな意識から、『ついで隊通信』、発行しようということになりました。これ、第1号の発信したやつなんですけど、これは、例えば、福岡県全体のと、のぞみ小校区、三国小校区だけの空き巣とかの件数を年度別にまとめています。実際、こんな遭っているんですよってことを皆さんに知ってもらいたい。要は、脅すんじゃない

くて、意識しときましようねということですね。裏面は、小郡警察署の方と一問一答した内容とついで隊募集ですね。



第2号の『ついで隊通信』では、実際にメールとかで不審者情報とかよく流れてきますよね、多分、登録されていたら。そんなふうなデータを基に、何時頃が一番、こういった不審者情報、多いのかということ全部、一応、付けていって、下のこのグラフ、これ、うちの地域内だけです。例えば、4時まどとか6時までの時間帯の不審者情報、多いねというのものはっきりと見えます。これも『ついで隊通信』で発信させていただきました。そして、地域の防犯活動もこのとき紹介したと思うんですね。小郡警察署からのお知らせとか、募集もしていますけど。2号、こんな感じをしています。

次、第3号。まっ太フォン。振り込み詐欺がなかなかなくなるということで、私たちがそこに少し協力できたらなってことで、まっ太フォン用緊急ホームページがあるんだな。これ、私たちが相談しよう。なかなか商品のホームページは見にいかないですね。全世帯にこれを配布して、実際、これを見て買ったよっていう方もいらっしゃいました。裏面には、また募集と小郡警察署からのお知らせですね。



これ、一番、最近の『ついで隊通信』ですけども、また1つ、ついで隊活動ですね。マンガチックに描いて、ついつい読みたくなるような、マンガチックに表しました。これもメンバーの1人、今日、いでもらっているんですけど、マンガチックに描いていただきました。再び募集と小郡警察さんからののお知らせですね。

成人式でのポケットティッシュの配布。これは先ほど言ったティッシュですね。オリジナル、作って、みんなに入口の所で配ります。別について隊活動と一緒に協力してもらおうというつもりは全然ないんですね。ただ、こういった団体、あるよということを知ってもらうために、何となく配っている。メンバー募集しようって意識は全くないです。ただ本当に知ってもらうだけ。ティッシュだからつい手に取ってくれると思うんですね。てことをやっています。

★青パト巡回



ついで隊カード

ついで隊マグネット

平成30年5月から無理のない程度に活動！

★広報活動・・・①



防犯パトロール ついで隊

- ★県民の集いへの出展
- ★地域文化祭への出展
- ★他の防犯団体との交流
- ★ついで隊のぼり旗の作成
- ★防犯ステッカーの作成・配布
- ★地域総会等に出席して活動紹介
- ★募集チラシの作成・配布

青パト活動。これは実は私のマイカーですけども、これに、青パト活動で申請して、ついで隊のマグネットやついで隊カードをぶら下げて、土曜日に回っています。これも無理のない活動で、基本、土曜日っていうことにしていますけども、無理なく活動をしていっております。

広報活動。これも結構、私は大事な防犯活動と思っているんですけども、県民の集いへの出展、地域文化祭への出展、他の防犯団体との交流、ごみ箱の作成やステッカー作成、そして、いろんな地域の総会に出席して活動を紹介、募集チラシの作成等をやっておりますが、パトロールするということももちろん、防犯活動には一番だと思っておりますけども、こういった防犯に関わらず、アナウンスをしていく。地域の中で総会の案内するチラシを出す、のぼりを立てる、そんな1つ1つが私は防犯活動だと思っています。とにかく少しでも防犯という文字を目にする機会が多くなるようにしたいなと思っています。これ、単純に募集のチラシですけどね。これ、防犯ステッカー。これもメンバーがデザインして作りました。玄関に貼っています。

★活動資金調達のため夏祭りに出店



資金調達だけでなく・・・人と人のつながりの場 交流の場にもなっています。

人のつながりも 防犯活動



★継続的な活動を目指して！

「ついで隊」世話人の活動が負担になると 継続が難しくなる



①活動は楽しく！
②無理はしない！
③情報は共有する！
④懇親会は何より大事！



ついで焼き

活動資金の調達。夏祭り出店。これが楽しいんですよ。これ、資金調達だけでなく、人と人のつながりの場、交流の場になっているんですね。これがまた、人と人のつながること自体も防犯活動と思っています。夏祭りは基本、世話人で出店するんですけど、それだけじゃ人数が足りないんです。その人たちが知り合いを連れてきて、要は、全員が来られないから、20人ぐらいで夏祭りの出店するんですけども、誰々さんねとか、久しぶりだねとか、年1回、このとき会うとか、そういった視点でも、人と人のつながりを保つ、いい場になっているなというふうに思っています。ちなみに、私たち、焼き鳥が今、メインなんですけど、焼き鳥は職人、プロになってらっしゃいます。結構、夏祭りじゃ定番の商品ですね。あと、綿菓子とかついで焼きが載っていますね。ついで焼きの焼きマシュマロ、オリジナル商品ですけどね。

何と言っても、立ち上げて、長く継続して活動していくことが大事だと思っていまして、私たち世話人の活動が負担になってくると、それこそ活動の継続が難しくなってくると思っています。私たち世話

人自体がまずは楽しくなければいけない。そして、絶対に無理はしない。情報は共有する。懇親会は何より大事ですね。今日も終わったら、ひょっとしたら行くかもしれません。それも分かりませんが。もちろん、私たちがするのは、これ、提げてもらっている活動が一番なんですけども、この世話人がいなくなったら、活動の継続自体なくなってしまうんですね。世話人を探すときも、ただ、防犯パトロールを始めるから、手伝ってというような声掛けしないんですよ。楽しいことがあるよってことで呼び掛けて、集まってもらったら防犯活動だった。でも、その中で楽しくやってもらって。夏祭り、一般人がお手伝いされています。夏祭り？ビールが飲めるよと言って来てもらって。そこで、来たら楽しいんですね、夏祭り。仲間が焼いて、お客さんと接して。そんな中でやっています。これがついで焼きですね。結構、今、人気商品になっています。火でその場であぶって。そして、最初に言いましたけど、世話人、13人いるんですけども、実際、緩い会議なので、会議に参加するのが3名とか4名っちゃうのが普通っていうか、多いんですね。でも、欠席した方にはどうするかっていったら、絶対、何を話したか、何を決めたかという情報を共有するというのを大事にしています。それ、今、LINEがあるから、絶対、LINE、外さないよう、写真、撮ったりとか、データで送るように一応しています。



最後、本当にこれも今、私のお気に入りの写真の1つですけども、以上で私たちの活動の発表を終わらせていただきます。ありがとうございました。

講評

大上 どうもありがとうございました。ついで隊の活動が活発なのは、情熱的でユーモアのあるリーダーの存在が大きいのかなって思いながら、聞いておりました。防犯ボランティアの参加者を募る良い方法っていうのは、最初のハードルを下げることなんだといわれています。皆さんが取り組まれている、ついで隊カードを装着して、散歩とかウォーキングといった取り組みとか、それから、参加者の時間、報告しないような、日時を決めないパトロールっていうのは、本当に自分にもできるなと思わせる、いい方法だって思いました。

それから、今回のフォーラムに参加されている各団体に共通するキーワードとして、ながら防犯、ついで防犯が挙げられると思うんですね。このながら、ついでっていうのが実は犯罪心理学的にも理にかなったことなんですね。といいますのも、犯罪っていうのは日常的な場面、通勤とか通学の途中とか、職場、学校、あるいは買い物、レジャー、こういった日常生活の中で発生してくるわけです。犯罪者も普段は一市民として生活しているわけなんですね。ですので、散歩しながらとか、水やりをしながらとか、買い物ついでに防犯活動っていうのは、犯罪が起きる日常活動に焦点を当てた取り組みだって受け止めました。

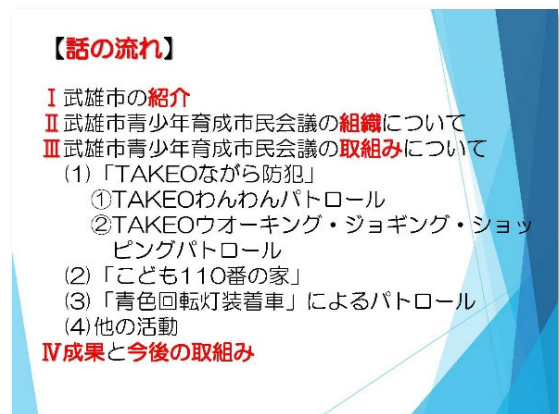
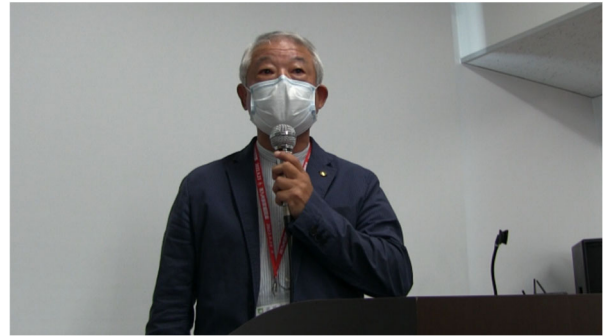
それから、ついで隊カードですけども、本当によく考えられているなっていうふうに思いました。本来ならば、目立ったほうがいいんですけども、抑止効果が上がりますから、目立ち過ぎると、付けて

歩くのが恥ずかしいといったような、敬遠される相反関係を使うっていうのはあるんで、デザインを試行錯誤されて、現在の形にたどり着いていると。非常にシンプルなんですけども、素材にこだわっているんですね。蛍光素材を用いられて、特に夜間では目立つという部分ですね。夜間で目立って、不審者と間違われたいと。それから、交通事故にも巻き込まれることがないってことで、本当によく考えられたカードかなと思います。使った古いカードを入れて、絡まらないようにするっていうのもよく考えられているなと思いました。

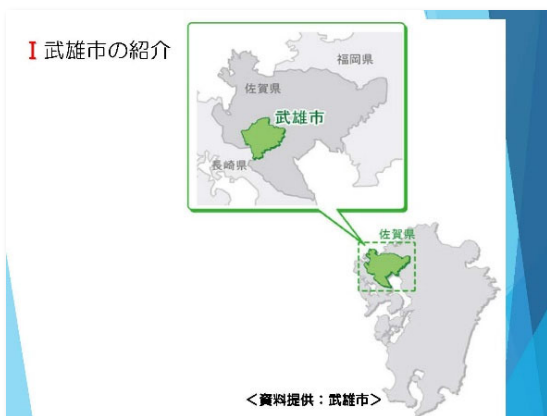
それから、ささいなことかもしれませんが、活動が終わった後、デブリーフィングっていうか、情報交換とか懇親会、本当に私も大切だっていうふうに思っています。活動を持続させたり、参加者を増やすには、この振り返り、デブリーフィングが大切なんです。活動の際に起こった出来事とか、各メンバーの気づきを情報共有して、問題点があれば、改善していくという取り組みを行うことで、今後の活動、質が向上していきますし、あと、その後のお茶会とか飲み会、こういったようなものは防犯活動以外の楽しみであり、活動の充実感を本当に増す取り組みだと思います。といったようなところで、私からは以上です。どうもありがとうございました。

武雄市青少年育成市民会議（佐賀県）

改めましてこんにちは。ご紹介いただきました、佐賀県武雄市青少年育成市民会議事務局の山崎でございます。どうぞよろしくお願いいたします。



今日の話の流れですけれども、まず、武雄市の紹介、2つ目に、武雄市青少年育成市民会議の組織について、3つ目が、武雄市青少年育成市民会議の取り組みについて、TAKEOながら防犯、TAKEOわんわんパトロール、TAKEOウォーキング・ジョギング・ショッピングパトロール、こども110番の家、青色回転灯装着車によるパトロール、その他の活動、そして、成果と今後の取り組みでございます。



まず、武雄市の紹介をさせていただきます。多くの皆さまがたはご存じかと思いますが、武雄市は佐賀県の西のほうにございます。

武雄温泉で有名かと思いますが、これが武雄温泉の楼門で、国の重要文化財となっております。



これは武雄市の図書館、歴史資料館でございます。ご存じのとおり、大手本屋さんと大手のコーヒESHOPが入っております、年中無休、9時から21時までの開館をしております。その横には子供たち専用のこども図書館が設置されております。ほぼ駐車場は満車の状態で、非常に有効な価値ある図書館というふうに聞いております。

これは武雄温泉駅でございます。



ご存じのとおり、西九州新幹線の発着地でございます、この写真は試運転のときのものです。

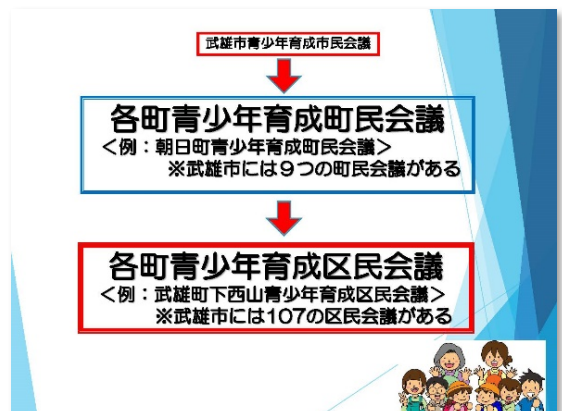
いよいよ今年9月23日、西九州新幹線が開業をいたします。武雄温泉駅から長崎までと、まだ部分開業ではございますけれども、どうぞ機会がありましたら、JRの職員ではございませんが、お乗りいただければというふうに思います。

II 武雄市青少年育成市民会議の組織について

武雄市青少年育成市民会議：昭和58年7月設立

市内の様々な団体から理事として参加いただき、理事会で新年度の計画を審議し、下記の部会に分かれて青少年育成活動に取り組んでいます。

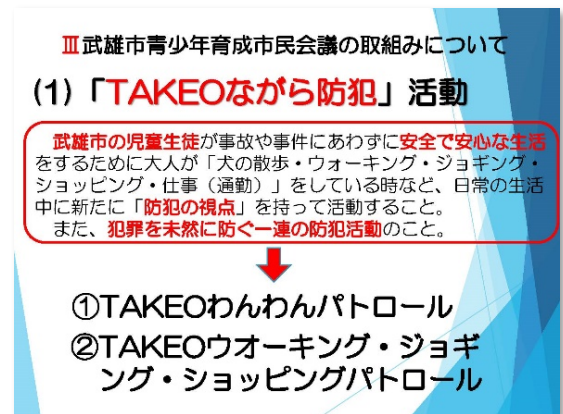
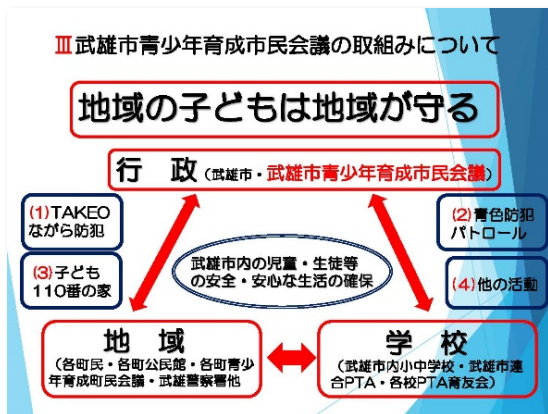
- 課長部** 市内の防犯巡視活動や点検などを行う
※「こども110番の家」、「青色防犯パトロール」など
- 育成部** 青少年育成事業の普及啓発や子どもクラブ活動等への支援を行う
※「TAKEO わんわんパトロール」 「月に一度はファミリーデー」
- 研修部** 青少年育成事業の先進地視察、研修会の実施などを行う
- 広報部** 青少年育成市民会議の広報誌「縫翔」の発行（年2回）



それではまず最初に、武雄市青少年育成市民会議の組織についてご紹介いたします。青少年育成市民会議は昭和58年7月に設立されております。間もなく40年を迎えることとなります。市内のさまざま

な団体から理事として参加していただき、理事会で新年度の計画を審議し、下記の部会に分かれて青少年育成活動に取り組んでおります。下記の部会と申しますのは、環境部会、育成部会、研修部会、広報部会の4つでございます。今日は環境部の中にあります、こども110番の家、青色防犯パトロール、育成部の中にありますTAKEO わんわんパトロール、この辺の紹介をさせていただきます。

武雄市青少年育成市民会議の下には各町の青少年育成町民会議というのがございます。例えば、朝日町青少年育成町民会議というふうに、武雄市には九つの町民会議がございます。さらにその下には各町の青少年育成区民会議というのが設立されております。例で言いますと、武雄町下西山青少年育成区民会議というふうな名称になっていきます。武雄市には107の区民会議があります。




取り組みについて申しますと、『地域の子どもは地域が守る』という合言葉をもとに、武雄市内の児童、生徒等の安全、安心な生活を確保するということが最大の目的でございます。そのためには、行政、ここでは武雄市青少年育成市民会議も入ります。地域、これは各町民、各町公民館、各町青少年育成町民会議、それから武雄警察署さま他ということになります。それから学校、武雄市内の小中学校、武雄市連合PTA、各校のPTA 育友会、これら3つの大きな組織がトライアングル式で連携、連動して活動をしているということになっていきます。その活動の一環として、TAKEO ながら防犯、青色防犯パトロール、こども110番の家、そして他の活動というふうになっていくわけです。

では、取り組みのまず1つ目、TAKEO ながら防犯の活動についてご紹介いたします。TAKEO ながら防犯の定義といたしましては、武雄市児童、生徒が事故や事件に遭わずに安全で安心な生活をするために、大人がイヌの散歩、ウォーキング、ジョギング、ショッピング、仕事をしているときなど、日常生活の中に新たに防犯の視点を持って活動すること。また、犯罪を未然に防ぐ一連の防犯活動のことと定義しております。TAKEO わんわんパトロール、TAKEO ウォーキング・ジョギング・ショッピングパトロールということになります。

①TAKEOわんわんパトロール」活動

愛犬と散歩しながら子どもと大人の安全・安心な生活を見守ることを目的に平成28年1月から活動をしている。隊員（犬含）は、特に、子どもの登下校時の活動の際は、**隊員グッズを装着し、居住地周辺のパトロール**をしている。

【登録犬の頭数：49頭】
令和4年4月現在



「わんわんパトロールグッズ」




TAKEO わんわんパトロールの活動につきましては、愛犬と散歩しながら子供と大人の安全、安心な生活を見守ることを目的に、平成28年1月から活動しております。隊員、もちろんイヌも含まれますけれども、は特に子供の登下校時の活動の際は隊員グッズを装着し、居住地周辺のパトロールをさせていただいております。ご覧になりますでしょうか。イヌ、イヌの飼い主の方、子供たちがこうやって一緒に、この場合は、登校をしている様子でございます。登録件数ですけれども、今年の4月現在、49頭でございます。最近、イヌをたくさん飼ってらっしゃる方、いらっしゃいますけれども、なかなか隊員が増えないということが実情でありまして、一層、情宣活動をする必要があるかというふうに考えております。

これがわんわんパトロールグッズでございます。反射材が付いておりますし、糞をしたら、この袋の中に入れていただく。こういうグッズを、登録していただきますと、隊員の皆さんにお届けするということです。

活動者 江口様の声

私の子どもが小学生の時、登校する際に防犯を兼ねて一緒に歩いていました。その後「わんわんパトロール」の話があり、登録をさせていただきました。田舎のため、通学路の目が行き届かない所があります。そこで、不審者・不審車がないかを見ながら、子どもたちと歩いています。「人の目がある」ということが犯罪の防止に効果があるとかがえています。子供の見守りとともに地域の見守りもでき、大変、意義のある活動と考えています。』



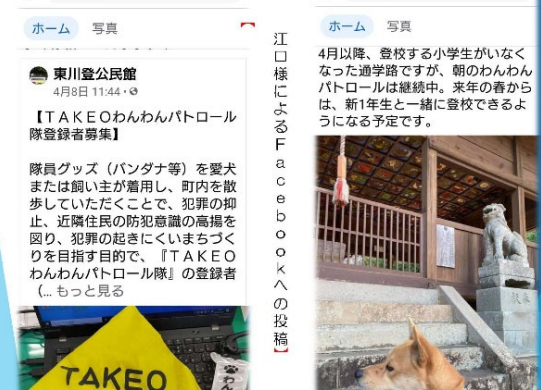
江口様による Facebook への投稿

4月以降、登校する小学生がいなくなった通学路ですが、朝のわんわんパトロールは継続中。来年度の春からは、新1年生と一緒に登校できるようになる予定です。

東川登公民館
4月8日 11:44

【TAKEOわんわんパトロール隊登録者募集】

隊員グッズ（バンダナ等）を愛犬または飼い主が着用し、町内を散歩していただくことで、犯罪の抑止、近隣住民の防犯意識の高揚を図り、犯罪の起きにくいまちづくりを目指す目的で、『TAKEO わんわんパトロール隊』の登録者（... もっと見る




それでは、わんわんパトロールの活動者である江口様の声をお聞きください。『私の子供が小学生の時、登校する際に防犯を兼ねて一緒に歩いていました。その後「わんわんパトロール」の話があり、登録をさせていただきました。田舎のため、通学路の目が行き届かない所があります。そこで、不審者・不審車がないかを見ながら、子供たちと歩いています。「人の目がある」ということが犯罪の防止に効果があるとかがえています。子供の見守りとともに地域の見守りもでき、大変、意義のある活動と考えています。』。こういう声をいただきました。

これは江口様の Facebook の一部でございます。東川登公民館で募集しているものを Facebook に上げていただきました。『TAKEO わんわんパトロール隊登録者募集』。それから、これは江口様自身が活動されている自分の様子を Facebook に上げていただきました。

②TAKEOウォーキング・ジョギング・ショッピングパトロール活動

平成31年3月から活動を開始した。武雄市住民がウォーキング・ジョギング・ショッピング・通勤をしながら子どもや大人の安全・安心な生活を見守る。隊員は、グッズ（キャップ・反射たすき）を装着して活動をしている。特筆として、武雄警察署員様に登録（令和2年度：53名）いただいている。



【パトロール登録：183名】
令和4年5月現在

【パトロール隊員用グッズ】



【活動者 中村様の声】


住んでいる地域がパトロールを始めたのは、18年前です。住んでいる地区が広いために12の常会ごとに当番を決めて実施しています。登校時にパトロールをしています。朝7時から8時の1時間です。危ないことはしていないか、事故に遭うようなことはしていないかを見ながらのパトロールです。下校する時もパトロールをしています。不審者がいないか、危険な箇所はないか等もみています。「パトロールの目」のおかげで事件や事故もないようです。「地域の目、パトロールの目」のおかげで、子供たちの事件事故がないことは、大変嬉しく思います。

次に、TAKEO ウォーキング・ジョギング・ショッピングパトロール活動についてご紹介いたします。平成31年3月から活動を開始いたしました。武雄市住民がウォーキング、ジョギング、ショッピング、通勤をしながら、子供や大人の安全、安心な生活を見守る。隊員はグッズ、キャップや反射たすきですが、を装着して活動をしていらっしゃいます。特筆すべき点といたしましては、武雄警察署様全員が令和2年度に登録をさせていただいております。これがグッズでございます。派手な色でありますけれども、こういう色こそ抑止力につながるだろうというふうに考えております。これが反射材のたすきでございます。パトロール隊員の登録でございますが、今年5月現在、183名となっております。

この活動をしていらっしゃいます、中村様の声でございます。『住んでいる地域がパトロールを始めたのは、18年前です。住んでいる地区が広いために12の常会ごとに当番を決めて実施しています。登校時にパトロールをしています。朝7時から8時の1時間です。危ないことはしていないか、事故に遭うようなことはしていないかを見ながらのパトロールです。下校する時もパトロールをしています。不審者がいないか、危険な箇所はないか等もみています。「パトロールの目」のおかげで事件や事故もないようです。「地域の目、パトロールの目」のおかげで、子供たちの事件事故がないことは、大変嬉しく思います』。このような声でございました。

(2)「青色回転灯装着車」によるパトロール活動

子どもに対する事件事故などの未然防止や再発防止を目的に公用車（武雄市管理：28台）に青色回転灯を装着し、地域をパトロールする。運転者は、市職員・各町民会議関係者（区長・自治公民館長・保護司・民生委員・地域女性など）PTA育友会・学校職員等。装着車の運転時に必要な「実施証」を取得する講習会は、各町公民館（町民会議）が年に一度開催している。



【実施証取得者：約4500名】
令和4年4月末日現在



行政によるパトロールの実施



【地域によるパトロールの実施】



【学校によるパトロールの実施】

次に、青色回転灯装着車によるパトロール活動でございます。これは子供に対する事件、事故などの未然防止や再発防止を目的に、公用車、武雄市の管理28台に青色回転灯を装着し、地域をパトロールしていただいております。運転車は市の職員、各町民会議関係者、これは区長さんであったり、自治公民館長さんであったり、保護司さんであったりってこととなります。なお、実施証を取得する講習会は、各町公民館、町民会議等が主催でございますが、各公民館が年に1度、開催をしているところでございます。今年もそれぞれの町で講習会が開催されております。令和4年の4月末現在、青色回転パトロールの講習を受けて、実施証を持っていらっしゃる方は約4500名となっております。話に

聞きますと、佐賀県で最も多いということですが、他の市町におかれましては、いかがなものなのでしょうか。

行政によるパトロールの実施、地域によるパトロールの実施、学校によるパトロールの実施、先ほど申しましたけれども、3つのトライアングルがきちんと連動して、パトロールをしているということになってまいります。



これは今年4月13日に武雄町の町民会議が主催しましたパトロール講習会の様子でございます。講習の先生は武雄警察署の署員の方でございます。これは武雄市青少年育成市民会議の広報紙の中に紹介をしたものでございます。



(3) こども110番の家

発足時は、武雄市連合PTAが中心となって活動をし、各町の町民会議が支援をしていた。活動の統一性を図り、武雄市全体で取り組めるように武雄市青少年育成市民会議が担当するようになった。

- ◎子どもが危険（誘拐・暴力・痴漢など）を感じた時の「逃げ場」
- 子どもの保護
- 警察等への連絡
 - ・登下校
 - ・日常生活

【110番の家登録：771軒】
令和2年4月現在

さて、これは武雄の公民館と武雄町の防犯協会がキャラクターを作りました。そして、このキャラクターの名前を町内の小学生に募集しましたところ、なんと単純明快な青パト君ということになりまして、非常にいい名前だなと思っておりますが、皆さん、いかがお考えでしょうか。もちろん、こういうキャラクターをお持ちの団体もあろうかと思っておりますけれども、非常にこれはいい取り組みだなと大変嬉しく思います。

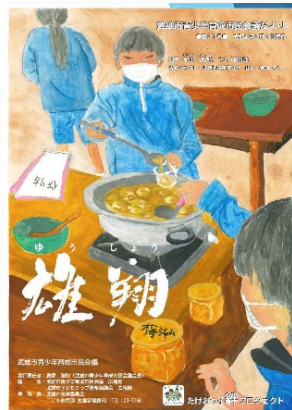
こども110番の家についてですけれども、どこの県でも市町でもやっつけらっしゃると思っておりますが、こども110番の家について紹介いたします。発足時は武雄市連合PTAが中心となって活動しておりました。各町の町民会議が支援をしておりましたけれども、活動の統一性を図り、武雄市全体で取り組みましょうということで、武雄市青少年育成市民会議が担当するようになりました。こども110番のステッカーで、市民会議、連合PTA、武雄警察署というステッカーを作っております。令和2年4月現在で771軒の110番の家の登録がございます。



このステッカーは惣菜屋さんや農機具屋さん、美容室、歯医者さん、コンビニ、薬局、耳鼻咽喉科、車屋さん、こういうところにステッカーを貼って、協力をいただいております。

(4) 他の活動

① 広報活動
市民会議広報紙「雄翔（ゆうしょう）」を発行している。その中に防犯活動等に関する記事を掲載し、市民への活動報告とともに活動啓発をしている。



他の活動につきましては、広報『雄翔』というのを発行いたしまして、その中に防犯活動等に関する記事を掲載して、市民の皆さまへの活動報告とともに、活動の啓発をしているところでございます。

これが『雄翔』の中にある一部でございますが、ここに TAKEO わんわんパトロールのこと、それから青色回転灯パトロールのこと、こども 110 番のことを紹介をいたしております。

② 武雄市内駅構内環境の点検並びに有害図書自動販売機設置施設の点検活動
事件事故の未然防止等のために年に1回、市内にある4駅構内に設置してあるトイレ・自転車置き場の点検をしたり、市内に設置してある有害図書自動販売機の施設を点検したりしている。



③ 長期休業中（夏休み・冬休み・春休み）の夜間パトロール活動

子どもの犯罪抑止や事件事故の未然防止のために各町の町民会議（町公民館）のメンバーによる巡視を午後7時から約2時間程度、行っている。



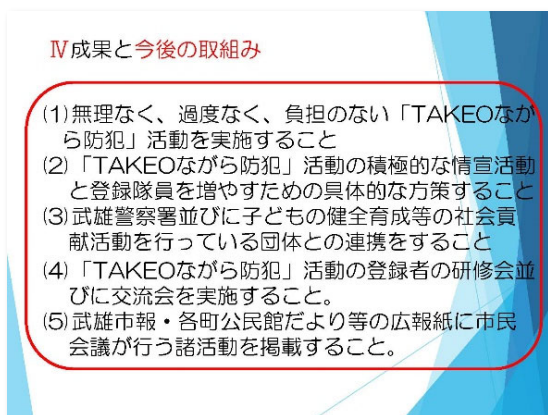
これは武雄市内駅構内環境点検ならびに有害図書の自動販売機設置施設の点検活動でございますが、年に1度、武雄市内にある4つの駅の構内のトイレや自転車置き場を点検したり、市内に設置してあります、有害図書自動販売機の施設を点検したりしております。有害図書の自動販売機が撤去するってことはなかなかかかっておりません。現在、武雄市に3カ所ございます。他の地域のほうはいかがでしょう。なかなか撤去できないということでございます。

これは、長期休業中に夜間パトロールを、各町の町民会議の皆さまがたに協力をしていただいて、実施しております。子供の犯罪防止や事件、事故の未然防止のために、各町の町民会議のメンバーによる巡視を午後7時から約2時間程度していただいております。



成果と取り組みにつきましては、令和元年、功労ボランティア団体賞を受賞いたしました。明治記念館でいただいた様子でございます。

それから、皆さま、ご存じかと思いますが、青色回転灯パトロールの活動中の写真コンテストを全国防犯業界がやっておりますけれども、令和2年度、めでたく最優秀賞をいただいたところでございます。恐らく、この写真、ご覧になった方もいらっしゃるかと思います。



成果と今後の取り組みにつきましては、無理なく、過度なく、負担のない TAKEO ながら防犯の活動を実施すること、TAKEO ながら防犯活動の積極的な情宣活動と、登録隊員を増やすための具体的な方策を考へること、武雄警察署ならびに子供の健全育成等の社会貢献活動を行っている団体との連携をすること、TAKEO ながら防犯活動の登録者の研修会ならびに交流会を実施すること、最後に、武雄市報、各町公民館だより等の広報紙に市民活動が行う諸活動を掲載することといたしております。

以上でございます。皆さまがた、ご清聴ありがとうございました。

講評

大上 ありがとうございました。武雄市では、行政、それから教育組織、警察、地域のさまざまな団体がのおの本来の目的を超えて、『地域の子供は地域が守る』っていう合言葉のもとで、組織だって行動しているっていう実態を知りまして、大変、感銘、受けました。目的も文化も、それから風土も違う組織をまとめ上げるっていうのはかなりのご苦労があるんじゃないかなっていうふうに拝察するんですけども、地域の防犯活動の理想形の1つなのかなと思います。今回のフォーラムもそうですけれども、

数々の受賞歴が評価されているのかなって思いながら聞きました。それから、先ほどの最後の写真、全国最優秀賞獲得された青パト写真、青パトに手を振っている小学生の子供たちが写っていますけども、実は私も福岡市の自分で住んでいる校区で青パトボランティアやっていますね。青パトボランティアやっていると、小学生の子供たちが手を振ってくれるんですね。ああいったような手を振ってくれるというのは運転していて本当に嬉しいものなので、とてもドライバーさんの気持ちに共感できるなって思いました。

それから、先ほどのながら隊もそうなんですけども、TAKEO ながら防犯、目玉的な活動であると思うんですけども、イヌの散歩しながらとか、ウォーキングしながらとか、ジョギングしながらってことなんですけども、これも参加する人の負担感が少ないってことで、参加者を増やすには本当、良い試みだっていうふうに思います。そして、防犯活動される方のキャップ、それからタスキ、先ほどとは対照的に、すごく目立つような色使いといったようなことで、活動が周囲の人にしっかり伝わりますし、また、事故防止にもつながるので、これも大変、良い取り組みだっていうふうに思いました。この取り組みが今後、広報されて、参加者がさらに増えるってことを私もすごく期待しています。

それから、2点だけ質問なんですけど、たわいのない質問です。冬休み、夏休みとかの子供たちの休み期間のパトロール活動、夜間7時から2時間やっているって今、言っていましたけど、これ、月曜日から日曜日まで全てやっていらっしゃるんですか。

発表者 これについては、各町の公民館ならびに各町の町民会議の主催ですので、それぞれの地域によって全く取り組みが違うというふうに捉えております。よろしいでしょうか。

大上 分かりました。それから、青パト君のデザインはどうしたんですか。プロの方にお問い合わせされたようなデザインなんですけども。

発表者 これはある公民館の主事が描いたかと思えますけれども、ちょっとお待ちいただけますか。すみません。

大上 それでよろしいですかね。

発表者 館長が来ていますので。担当、館長で。そういうことで、ものすごく絵に長けた職員がおりますので、無料で描いてくれたようでございます。

大上 いや、もちろんプロの絵を描く方にお問い合わせされたのかなと思ひまして、お尋ねしました。どうもありがとうございました。

発表者 褒めておきます。

防犯若武者ベアーズ（熊本県）

皆さん、こんにちは。熊本県の防犯若武者ベアーズです。熊本を安全で安心して暮らせる町にしたいという思いで、できることから無理なく、気軽に、楽しみながら、これをモットーに活動を行っております。本日はカッコいいお兄さまがたときれいなお姉さまがたがたくさんいらっしゃるんですけども、恐らく、私たちが最年少かなというふうに思っております。そのため、プレッシャーはあるんですけども、フレッシュに発表していきたいと思っております。本日、発表いたします、私、熊本県立大学4年のタカマツです。



そして、熊本学園大学4年のサカモトです。私自身は野球を12年間やっていたんですけども、本日は高校野球の予選をやっております。その野球観戦をしたいという思いを抑えつつ、このような会に一同、参加できること、本当に嬉しく思います。この時間を有意義なものにしたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

防犯若武者ベアーズ

熊本県

本日の流れ

1. 防犯若武者ベアーズの概要
2. これまでの主な活動
3. 課題
4. 課題解決に向けて
5. 将来に向けた取組み

本日の流れといたしまして、まず、防犯若武者ベアーズの概要、そして、これまで取り組んできた主な活動、そこで出た課題、課題解決に向けた取り組みや考え、最後に、将来に向けた取り組みについて話していこうかと思います。

防犯若武者ベアーズとは？

防犯ボランティア団体
主に熊本市内で活動

熊本県内の大学に在籍する大学生

熊本県内に勤務又は居住する
16歳以上30歳未満の人

名前の由来

若武者

熊本のシンボル 熊本城の武者返し
+
若者

ベアーズ

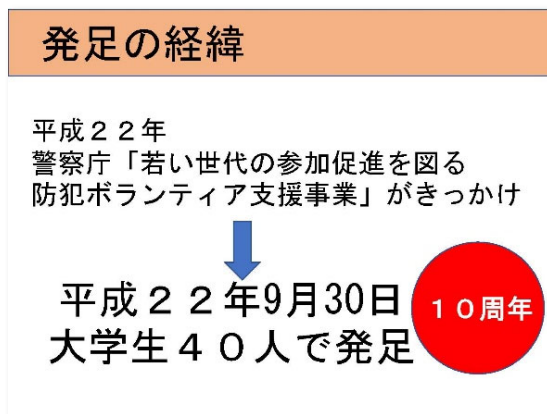
熊本県の 熊 + 熊本県警
マスコット
ゆっぴー



まず、防犯若武者ベアーズの紹介です。防犯若武者ベアーズは、防犯ボランティア活動に関心があり、活動への参加を希望する、主に熊本県内の大学に在籍する大学生、または、熊本県内に勤務、または居

住する 16 歳以上 30 歳未満の方を対象として、メンバーを募集しています。活動地域は主に熊本市内で
す。

また、防犯若武者ベアーズっていう名前の由来なのですが、まず若武者というのが、熊本のシンボル、
熊本城にあります武者返しという滑り台のように反っている石垣があるんですが、その武者返しと、学
生が中心なので、若者という言葉から若武者という言葉をつけております。あと、ベアーズというのが、
熊本県の熊という字と、熊本県警のゆっぴーというマスコットからベアーズと名付けています。



また、若武者ベアーズでも最近、独自のマスコットキャラクターを作ろうじゃないかということで、
新しくオリジナルのマスコットキャラクターを作りました。それが左手、このかわいいほうがマモるん、
右手が熊に守る、熊本を守ると書いて熊守刑事というふうに呼びます。余談なのですが、本当はかわい
いマスコットキャラクター、1 個、作ろうじゃないかっていう話だったんですけども、自分の勝手な
趣味で、某プロ野球球団、東京にあるオレンジ色の球団のマスコットキャラクターが 5、6 年前にかっ
こいいデザインのマスコットキャラクターにしまして、あれに憧れて、かっこいいの、作ろうぜって
いうことで、2 匹、2 人、作りました。

次に、発足の経緯です。平成 22 年、警察庁の若い世代の参加促進を図る防犯ボランティア支援事業
がきっかけとなり、当時の大学生 40 名で発足しました。この事業は、防犯ボランティアを活性化する
上で、活動する構成員の高齢化というのが大きな課題にありまして、これを対応するために若い世代に
参加を呼び掛けて、活動を通じて防犯意識の向上を図ってもらおうという目的で、各都道府県に 1 団体
を指定し、支援をするという事業です。この事業によって、各都道府県に学生防犯ボランティアが誕生
いたしました。ちなみに、福岡県にあります、ななくま元気にするっ隊、そして、佐賀県にあります、
さがんせん隊守るんじゃー、この 2 つは一緒に誕生した同級生の団体となっております。

参加大学・学校

<大学>

- ・熊本学園大学
- ・熊本大学
- ・熊本県立大学
- ・崇城大学
- ・九州ルーテル学院大学

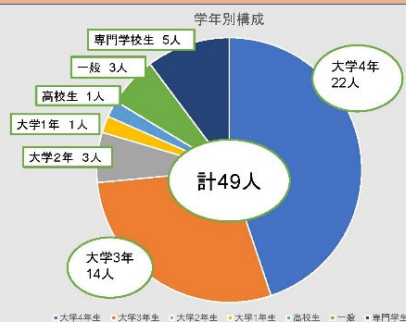
<高校>

文徳高校

<専門学校>

大原公務員スポーツ専門学校

学年別構成



参加メンバーに関しましては、現在、5つの大学、1つの高校、1つの専門学校の学生および大学を卒業した一般の方で構成されております。このグラフは5月末になるのですが、5月末の時点では、大学4年生が22人、大学3年生が14人、大学2年生が3人、大学1年生が1人、そして、高校生も1人、一般の方が3人、専門学生5人の計49名なのですが、最近、また新しいメンバーが続々と加入いたしまして、現在、約60名ほどにメンバーが増えております。

これまでの主な活動

各種防犯キャンペーン

ロックの日鍵かけキャンペーンなど



次に、これまでの主な活動を紹介します。

まず、主な活動の1つ目として、警察や他の団体と連携した各種防犯キャンペーンの参加があります。防犯設備協会との『ロックの日鍵かけキャンペーン』や子供に対する被害防止キャンペーンを行っております。ちなみに、この写真は、先日、熊本学園大学で開催された『ロックの日鍵かけキャンペーン』の写真です。このときは、防犯設備協会の方や熊本県警の方もお越しになり、あと、メディアの取材も入っており、大変にぎやかなキャンペーンとなりました。

電話で「お金」詐欺 啓発活動

ATM警戒 啓発チラシ配り



防犯パトロール

小学校付近でのパトロール活動



次は、電話でお金詐欺被害防止キャンペーンです。まず、『電話で「お金」詐欺』というこの言葉ですが、これは特殊詐欺のことを指しております。熊本県では、特殊詐欺の認知件数や被害金額というのが

年々、増加しており、この問題に対処しようということで、県民の方により特殊詐欺が身近に迫っているということ、そして、特殊詐欺の特徴を理解してもらおうということで、『電話で「お金」詐欺』と呼んでおります。この啓発活動の一環としまして、金融機関と連携して、金融機関の中にあるATMの近くで防犯ボランティアのメンバーが警戒活動をして、ATM使用中に通報しているお年寄りの方がいないかなどといった見守り活動を行っております。また、その際に啓発用のチラシ配りなどを行っております。実際にこの活動をして気付いたのが、まだ実際に通話をしながら使用している方を目撃したことはないのですが、ATMの操作が苦手としている高齢者や、または、銀行員の方と一緒にATMを操作しているお年寄りの方がたくさんいるなど感じております。ATMの操作ができないということも犯人は付け狙っているのではないかとこのように個人的には感じました。

次です。近頃、県警からの安心メールで、不審者情報が続々と流れてきています。そのために、若武者ベアーズとしては、小学生が安心して下校や遊びに行けるように、小学校付近でのパトロールを定期的に行っております。現在は週に1回のペースで行っております。小学生の安全、安心を守るとともに、住民のかたがたへの挨拶などもしっかり行うことによって、活動の周知にもつながられるようにしております。また、変わった活動としては、秋に行われる熊本リレーマラソンでの防犯ランニングがあります。秋に熊本リレーマラソンというのがありますが、このイベントは1人2キロの周回コースを21周するというものなのですが、私たちは、車上狙いや自転車盗難の被害防止のために、鍵掛けの徹底を呼び掛けながら走るというものです。しかし、新型コロナウイルスの関係で、一昨年、そして昨年も中止になったという経緯があり、今年もまた最近、新型コロナウイルスがはやり始めまして、雲行きが怪しいのですが、今年こそは参加したいなというふうに思っております。

～表彰を受けました～

令和元年度
くまもと犯罪の起きにくい
まちづくり活動功労団体表彰



このような活動を通して、発足からさまざまな活動を行ってきた結果、令和元年には防犯活動功労が認められ、くまもと犯罪の起きにくいまちづくり活動功労団体表彰を受けることができました。

課題

1 メンバーの確保

入学・卒業によるメンバーの
大幅な入れ替わり

学年による人数の偏り



学生に対する周知不足??

続きまして、活動に関する課題について話していきたいと思っております。

活動に関する課題としましては、メンバーの確保が挙がっております。春は卒業でメンバーが大幅に減ります。また、学年による人数の偏りというものもあります。現在は大学3年生と4年生が約5割以

上を占めており、1年生、2年生のメンバーが少ないといった状況になっております。メンバーのかたがたの紹介だったり、大学の先生からの紹介などで少しずつ人数は増えていっているんですけども、学生に対する周知というものが不足しているのではないかと考えております。

2 コロナ禍による活動自粛



また、コロナにより活動が思うように参加できないということも課題の1つです。昨年は感染防止のため、授業がオンラインで行われたり、また、学校に行けない日々というものがありました。人に会うこともなかなかできず、同じ大学に通うメンバーであったり、そういった人たちと顔を合わせることもできません。また、新しくメンバーが入ったと。でも、名前と顔が一致しないという状況が多々ありました。この課題につきましては、これからも、コロナというものが収まるまで付き合いがなければならぬ問題だと思っております。そ

の中で、コロナ禍でできることをこれからも考えていこうと思っております。

課題の解決に向けて

1 メンバー確保

大学1~2年のメンバーの確保



大学のサークル勧誘期間での勧誘
後輩などの勧誘

次、これらの課題の解決に向けて、私たちベアーズのメンバーでも検討を行っております。

まず1つ目に、メンバーの確保についてなんですけれども、ベアーズは県警への登録制度をとっています。活動を希望する際には、熊本県警察生活安全企画課に参加申し込みをする必要があります。ですが、以前は申し込みが郵送か警察本部に持参するという形をとっていたため、敷居が高く感じているのではないかというふうに意見が挙がりました。そこで、私たち自身で考え、スマートフォンなどから好きなきときに好きなタイミングで申し込めるように事務局のほうにお願いをし、県警ホームページからスマートフォンで申し込みができるように変更してもらいました。また、今年度から若武者ベアーズ専用のInstagramを開設し、プロフィール欄から申し込みをできるようにもいたしました。

1 メンバー確保

団体の周知不足



メンバーの口コミ
若者向け地元雑誌への掲載



学年の偏りの解消

1 メンバー確保

LINE・instagramによる
活動の呼びかけと取りまとめ



無理なく、
気軽に、
ボランティア！！

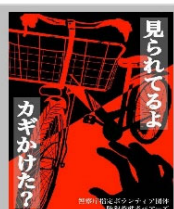
次に、団体の周知不足についてです。大学で行われる座談会等、学生が参加する行事にベアーズのメンバーが積極的に参加をし、そこでベアーズをアピールして、口コミによる参加を狙いたいと考えております。しかし、こういった座談会等もコロナの影響でなかなか機会がありませんので、落ち着いた際に、そういった機会があれば、積極的に私たち自身も参加し、しっかりベアーズのアピールをしていきたいなというふうに考えております。また、各大学内でのチラシ配りなども直接、行っていこうと考えています。先ほど申し上げたとおり、Instagram を開設しましたので、活動風景つものも積極的に発信することで、若者に対しての周知につながるのではないかなと考えております。

また、大学も学部も違う私たちの予定がいつも合うとは限りません。大学の講義であったり、アルバイトも学生はしております。活動になかなか参加できないときもあり、そういったおのおののスケジュールがありますので、事務局と連絡を取り合い、活動のお知らせはLINEで行い、参加の確認、出欠などもLINEの機能を使って、都合のいい時間に回答ができるように行っております。また、活動日も多く設けることを意識しており、参加率の向上も狙っております。

2 コロナに負けない活動の考案

大学の駐輪場にて
自転車の盗難被害防止活動

ひっそりと



啓発動画の作成

電話で『お金』詐欺被害
防止啓発動画・CMに出演

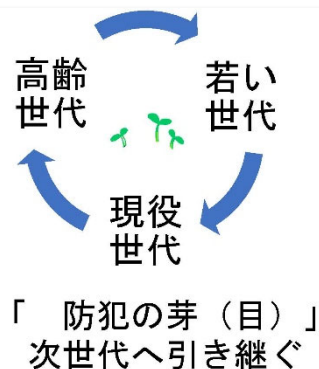


また、コロナ禍における活動を紹介したいと思います。今までのような活動ができない。ならば、自分たちでできることを考えようということで、学生の足と言えば、自転車が挙げられます。自分たちが通う大学の駐輪場で自転車の盗難被害防止活動を思い付きました。学生が授業で野外にいない時間帯に少人数で分かれて、大学に駐輪している全部の自転車の施錠をひっそりと調べました。同時に、チラシのポスティング、配布も行っています。また、チラシに関しましては、チラシ作成の得意なメンバーであったり、そういった方と協力をして、興味を引くような文言を入れたり、また、デザインも斬新なものにしました。こちらが実際に配っているチラシになっております。

また、人と会わずにできる活動として、啓発動画の作成があります。熊本県では、先ほどこの題にもあったように、『電話で「お金」詐欺』という被害が増えております。そういったときに、その中でも件数の増えている還付金詐欺と、手口を紹介した動画を熊本県警察さんと協力して作成し、その動画を

YouTube の熊本県警公式チャンネルで掲載しております。この動画は社会福祉協議会などからも反響があります。たくさんの人に見てもらうことで、少しでも被害が防止できればいいなと思っております。ぜひ皆さんも一度、ご覧いただくと嬉しいです。

将来に向けた取り組み



将来に向けた取り組みとしましては、大学や学年を超えた今のメンバーのつながりというものを大事にしなが、こういった防犯ボランティアの活動を後輩たちにつなげていくということです。

大学・学年をこえたつながり

&

世代を超えたつながり

若い世代の貴重な経験

ご静聴ありがとうございました。



防犯若武者ベアーズ

コロナが収まれば、さまざまな年代のかたがたと活動と一緒にいき、世代を超えたつながりを大事にした活動というものができればいいなというふうに今現在、考えております。また、学生という期間は短いですが、若い世代で体験する防犯ボランティアってものとても貴重な経験になると考えており、実際に私自身も活動の際に取材を受けたり、また、このような会に参加できたりと、いろいろな経験をさせていただいております。こういった経験を、大学を卒業して就職をして、いろいろな場所に行き、新しい生活に慣れ、時間に余裕ができたときに、今度は私たちが社会人として、それから現役世代の防犯ボランティアとして活動を行っていければいいなと考えております。

これで防犯若武者ベアーズの発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

講評

大上 非常に落ち着いて堂々とした発表で、多分、事前に何度も練習されたのかなって思いました。私も大学の教員ですので、大学生を中心にした自主的な防犯活動のご報告を大変、興味深く聞かせていただきました。まず、皆さんの取り組まれている活動の実施回数が月 10 回ということで、大学のサークルなんかと比べると、かなり精力的に取り組まれているなっていう印象を受けました。それから、特徴的だなと思ったのは、活動内容の幅広さですね。他の団体には見られないようなもの、例えば、熊本リレーマラソンの防犯広報ランニング、それから、YouTube への詐欺防止動画の投稿は、若い皆さんが中心の部分ならではの取り組みだなというふうに思います。できることから無理なく、気軽に、楽しみな

がらってというモットーなので、自然にバラエティーが広がっていったのかなってというような印象、受けています。

あと、皆さんの課題にもありますけれども、皆さん、学生ですので、いずれは学校、卒業されるわけですね。同時に、このグループから退会されることになるんですけども、このノウハウの引き継ぎなんかはどのようにされているのかなと思いました。

発表者 今、質問があったとおり、その活動のノウハウの引き継ぎにつきましては、私たち4年生が卒業した際には、今度は今の3年生が主体となって活動するんですけども、何か実際に講習会などを設けて引き継ぎをするというよりは、4年生の役員であったり私たちが積極的に活動をやったり、運営をすることで、それをしっかり3年生にも見てもらう形をとっており、私自身も1個上の世代、私たち自身が3年生のときなどは、先輩たちの姿を見て学んでいくという方法をとっていたので、特別、引き継ぎをする会とかは設けてはないです。

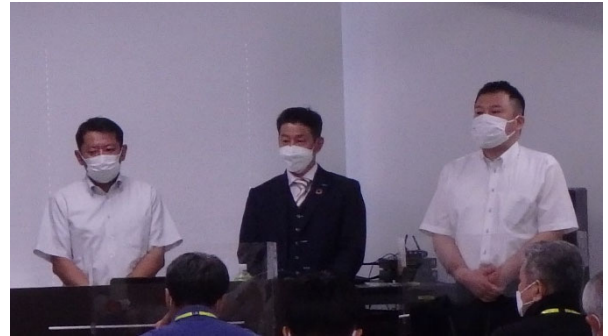
大上 コロナとかで新しい会員とか入ってこられないような状況もあるから、例えば、引き継ぎ書とか運営規則みたいなものを明文化して引き継いでいくと、今後、そうしたような事態に対応できて、スムーズに引き継いでいけるかなと思いました。それから、この会なんですけども、退会されたOB、OGの諸先輩がたっているのは時々、参加されることもあるんですか。

発表者 OBの方は先日、スライドにもあったように、自転車のロックの日のキャンペーンの際に、1つ上の先輩、実際、今、警察官として働いている方が一緒に活動してくれるっていうことがありました。

大上 退会されたOB、OGの方にも月1回ぐらい、忙しいかもしれませんが、来ていただいて、いろいろと意見交換して、そこでいろいろな信念とかモットーみたいなものを継承するような機会があれば、さらにいいかなというふうに思いました。それから、今、いいところなのかもしれませんが、先ほど申し上げた、現在の活動が多岐にわたっているなって印象、受けましたので、例えば、内容を見直して、注力するものを選んで、それにリソースを注ぐっていう方法も1つあるのかな。だから、そのときに参加できる少人数の人が頻度を多くして、より長期間、その活動に取り組むっていうのも、それで活動の参加率が上がるのか、それから、新しいメンバー確保できるか分かりませんが、1つ、方向性としてはあるのかなって思いました。以上になります。ありがとうございます。

佐伯ながら見守り隊（大分県）

こんにちは。佐伯ながら見守り隊の小田です。実は佐伯法人会青年部ってところの活動の1つとして今回、行っております。私、佐賀大学出身でして、まさかこの形で第二のふるさとに帰ってくるとは思ってもみなくて、この機会をつくっていただき、本当にありがとうございます。大学時代を思い出すと、今、発表されたベアーズさん、私と全然、違うなと思ながらも、ぜひ、就職、決まっていなかったら、うちの会社に来ていただけたらと思うような行動力でびっくりしました。これから直前会長の矢野が発表いたしますが、PTA 会長をされている佐伯鶴城高校が野球の試合がつい先ほどまであって、気が気じゃない中で、この5分前にやっと勝って終わりました。ということで、今日、多分、思う存分、発表されると思います。ちょっと心配なのが、試合中にこれ始まったらしらどうしようと思っていたのですがしっかり終わりましたので、よろしくお願いします。



九州ブロック 防犯ボランティアフォーラム

佐伯ながら見守り隊

活動事例発表

令和4年7月16日 土曜日

公益社団法人
佐伯法人会青年部会

会長 宮本 昌和
副部会長 矢野 伸二

法人会とは

法人会の組織

会員企業 **75** 万社

■ 税務署の協力団体

法人会は税のオピニオンリーダーとして

企業の発展を支援し 地域の振興に寄与し

国と社会の繁栄に貢献する 経営者の団体である

70 年を超える歴史を有し、全国で約 **75** 万社が加入する団体です！

佐伯ながら見守り隊、公益社団法人佐伯法人会青年部会のメンバーで運営をしております。本日は現会長の宮本と、そして、直前部会長兼副会長なんですが、私と、先ほどお話をされました小田筆頭副会長、来年度から会長予定者という形で、3名で来させていただいております。

それでは簡単に、法人会とはというところをまずご紹介をさせていただきます。こちらは税務署の基本的に協力団体という形でございます。全国に75万社が所属している形で、70年を超える歴史のある団体でございます。

法人会とは

■ 法人会は税のオピニオンリーダーとして

全国**440**の単位法人会が地域に密着した活動を展開！

税務署の管轄地域毎に全国各地に**440**単位法人会（大分県**9**単会）があり、県単位の連合体として41都道府県で組織されています。さらに、法人会の全国組織として全国法人会総連合があります。盟層構造により、活動の統一性と充実を図っています。法人会は、税制に関する様々な活動を始めとする全国共通の活動に加え、それぞれの地域の実情に応じた特色ある活動を行なっています。

青年部会について

■ 青年の持つ企画力・行動力が法人会を活性化しています

企業にとって次代を担う後継者の育成は大きな課題です。法人会では「**青年部会**」を設け、若手経営者が将来に向けて飛躍するために、多彩な行事や研修会を開催しています。

また、**地域社会貢献活動**においては、その企画力や行動力が大きな役割を果たしており、法人会の活性化にも繋がっています。

そしてまず、全国に440の単会がございまして、大分県にも、私ども佐伯を含めて、9単会、国税、大分のほうは熊本国税の管轄という中で、税制に関するさまざまな活動をはじめとして、それぞれの地域の実情に合わせた活動を行っているという団体でございます。

そして、その中に青年部会というものがございます。若手経営者が将来に向けて飛躍するために、多彩な行事や研修会を開催しているというところ。また、地域社会貢献活動においては、その企画力や行動力が大きな役割を果たしておりまして、法人会の活性化にもつながっているという形でございます。

佐伯法人会青年部 1期2年(6月総会)

初代隊長 2代目隊長 3代目隊長





平成29・30年会長 片岡孝雄
令和元・2年会長 矢野伸二
令和3・4年会長 宮本昌和

佐伯法人会青年部

会員新加入者数での南九連春美大会での表彰

- 会員数 135名 入会社数比率 全国第3位 (全国法人会総連合調べ)
- 主な事業活動
 - ・ 市内全小学校での租税教室
 - ・ 税金の絵はがきコンクール3年連続佐伯市よりチャンピオン輩出
 - ・ 税金探検隊
 - ・ 税務署長との座談会
 - ・ 各種研修会・県連・南九連ブロック大会・全国大会等への参加
 - ・ 平成30年より佐伯ながら見守り隊の活動

法人会というのは1期2年というところで、6月に総会を持ってということで、初代会長が片岡、そしてまた、私が令和元年から2年度で会長をさせていただきました。後ほどまたお話をさせていただきますが、令和3年度、4年度が宮本、そして、来年度から先ほどお話をさせていただきました小田が会長予定者という形で、継続的に続けていく形を持っている組織であるというふうな形でございます。

佐伯法人会なんですけど、本日も、ある意味、陸の孤島的な九州の最東端の所からやってきました。本当に人口も少なく、小さな町ではございます。ただ、会員数は135名、法人会青年部の中におります。これは全国の入会者数比率、その市にどのくらいの法人企業があつて、入会しているかというふうな率でいきますと、全国で3位という形になっております。それだけ若手経営者、非常にまとまっているということがいえるのかなと思っております。そして、事業活動といたしまして、絵はがきコンクール、子供たちから税金の絵をはがきに描いて、それを送る分で3年連続、佐伯市よりチャンピオン輩出しているというところ。それと、税金探検隊という事業、税務署長との座談会、各種の研修会であつたり、南九連の集まり、全国大会等の参加、そして、平成30年よりながら見守り隊という活動、行っております。

佐伯法人会青年部 租税教室

佐伯市内全19小学校 24クラス 541名




佐伯法人会青年部 税金探検隊

夏休みに市内の小学生を対象とした 佐伯市内の税金で造られた施設等の見学

佐伯市税務署ご協力

200名

100名

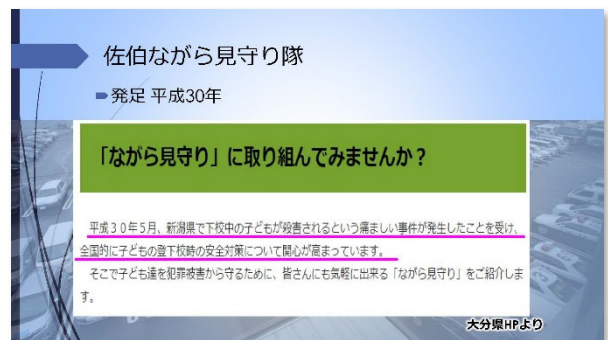
税金探検隊 旧文化会館 平成30年8月7日

魚市場を中心に佐伯市周辺 令和元年8月20日

まず、私どもが行っておりますところの中で、租税教室、これ、税金の勉強を私どもが講師、先生となって、教壇に立たせていただいております。先ほど少しお話をさせていただきましたが、佐伯市、本当に小さい町ではあるんですけど、平成の大合併によって、九州で最大の面積を持つ市となりました。その中に19の小学校がございまして、そして、6年生、5年生に授業を行っているんですけど、24クラス全て、これ、一昨年なんですけど、541名に対して租税教室を開催しているという形です。少し小さくて見にくいですが、左端の表の中で割り振りを決めて、これは税務署とも連携しながらなんですけども、税金の勉強をしているというような形です。先ほどお話がありました私がPTA会長を務めている学校でも高校生と話をしたら、あのときに1億円を持ってきた、1億円って偽物なんですけど、楽天で買える

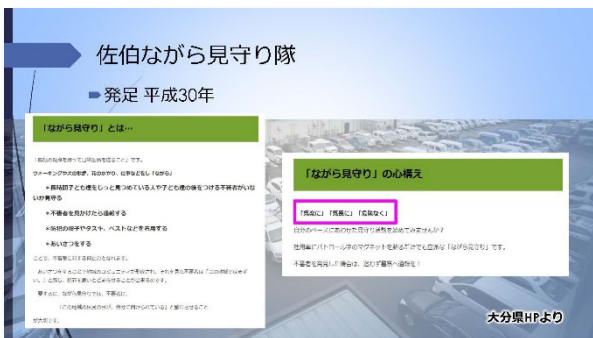
んですけども、レプリカを持って行って、お金の重さを感じてもらおうとかがっていうのを高校生でもいまだに覚えてくれているような授業を行っております。

そして、今、税金探検隊というふうな授業で、夏休みに市内の小中学生を対象として、税金でつくられた施設の見学等、行っております。平成30年のときには、ながら見守り隊を発足した頃でしたので、佐伯警察署の皆さんにもご協力いただきまして、パトカー、白バイ等も来ていただいて、このときは約200名の児童が来てくれました。そして、令和元年には100名、港を中心にして、真夏の冷凍庫であったり、バーベキューをしたり、県の方にもご協力をいただいて、最近の港湾施設等を見ていただくというような活動を行いました。これは1日かけて、朝からいろんな施設を回って、お昼ご飯も食べて、最終的には図書券まで配って、親御さんからしたら、こんな恵まれたイベントはないわって言うだけぐらい非常に喜んでおります。ただ、残念ながら、ここ2年はコロナの影響で中止というふうな形で、何とか今年は8月4日に開催したいと思っておりますが、いかんせんこのコロナの状況ですので、どうなるかは今、思案中でございます。



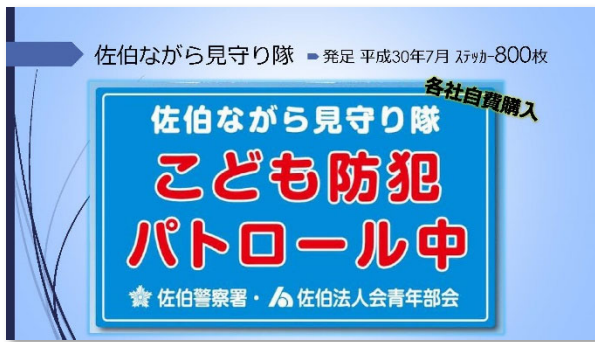
そして、そういった活動の中で、ながら見守り隊の活動も含めて、昨年、租税教育のプレゼンを大分県法人会の中でやりましたところ、おかげさまでこちらのほうを優勝させていただきました。

そして、平成30年、ながら見守り隊の発足というところで、これは平成30年の5月に新潟で女児、児童の痛ましい事件があったということが話の発端となっております。



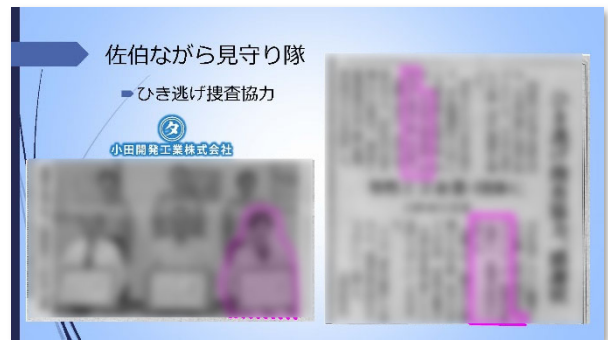
こちら、県のホームページにも紹介されているところなんです。そして、ながら見守りというところで、私ども135名の会員も経営者であり、親でありというところ。PTAともつながりを持っていますし、私も市議の副会長をやったり、そういったところの中で、子供たちを守っていくというところは当然、必要だという認識のところからのスタートでした。ただ、ただ今の発表の中にもございましたように、あまり負担をかけるというところだと、なかなかスタートが難しい。ましてや私ども、税務署のそもそも協力団体であるところが警察と何か一緒にするのかという若干、親会からの不満はございました。

しかしながら、初代の隊長、時の警察署長とのお話の中で、話が出たのが平成30年の7月の初旬でございました。



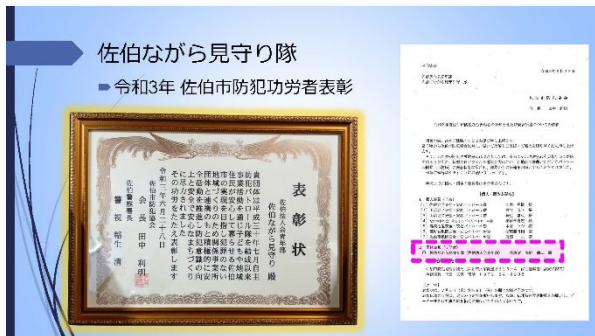
まず最初にやったのは、この佐伯ながら見守り隊、防犯パトロール中というステッカーを貼ろうということで、これを800枚、製作いたしました。

そして、各社に自費で購入をしていただいて。ですから、今、佐伯の中でこのステッカーを見ない日はございません。先ほどもお話をしましたように、九州で最大の面積を持つというところの中で、当然、都会のようにコンビニが多数あって、防犯カメラがあるというわけではない。そういった中で、こういったステッカーを貼った車が市内を事業活動しながらうろろうろしているというのは非常に効果的であるというところ。また、このステッカーの中に警察署さんのお名前を入れさせていただいている。ここにもものすごく効果があるというところなど、会の皆さんにご賛同いただいて、まず800枚のステッカーを貼ったところからスタートしたというのが流れでございます。そして、翌年になります。私が会長になってからなんですが、翌年はドライブレコーダーを各社の車に設置して、市内をまた回ろうというふうな取り組みになりました。当時、社会問題として、あおり運転が問題になっておりました。そして、私ども経営者としても、正直なところ「会社の車に全てドライブレコーダーを設置したい」ただ、社員からすると、皆、監視されているというような感覚があるんですね。というところで、ながら見守り隊としてやるんだ。前面にステッカーを貼って、先ほどの佐伯警察署の駐車場、全て埋め尽くして、社員もこの出発式には参加してというところの認識は持っていたというところ。そして、ドライブレコーダーが各社の事業所に、こちら自費負担ということで、380台を設置して、再度、佐伯警察署の駐車場、埋め尽くして発隊式を行わせていただいたというところでございます。



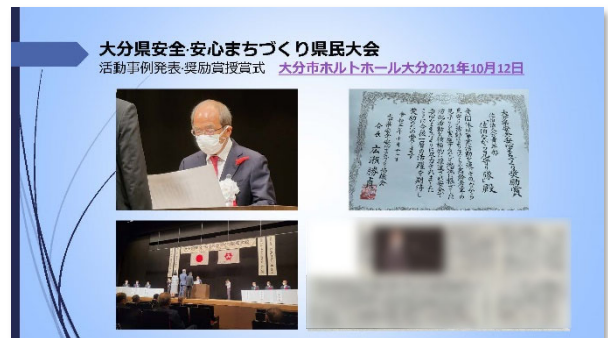
そしてこれ、また翌年、令和2年度、今度は事業所の入り口に街頭の防犯カメラを設置して。これは会社の防衛的な意味合いにもなるというところなんです。そこで、先ほどもありましたように、都会のようにコンビニが点在しているような形で、都会のほうは防犯カメラの映像だけで犯人の足跡を全て追えるような仕組みだそうです。ただ、田舎の場合はそうではないというところ、こちらも当然、お金が発生する形です。そこもただ、ご協力いただける事業者の皆さんにももちろん、これは強制力というのはございません。子供たちを見守っていこうという親であるという意識と、経営者であるという意識の中から多くの方に賛同いただいて、事業が行われているという形です。

こういった事業を行っている中で、成果というものが無いほうがいいんですけども、先ほどお話をされました小田筆頭副会長の事業所の社員さんが出勤途中にひき逃げ捜査を目撃して、それがドライブレコーダーに映っていました。



そこで、捜査協力として、ドライブレコーダーの情報、提供して、犯人の特定に至ったというところで、感謝状を頂いているというような形も出ております。そして、ながら見守り隊という組織、まだ発足して若いんですけども、保安協会のトップである市長から、そして佐伯警察署長からも表彰いただいております。

そして、さまざまな活動させていただいている中で、私も個人的にはございますが、ただ、法人会青年部ながら見守り隊の活動として、佐伯税務署長より表彰していただいております。



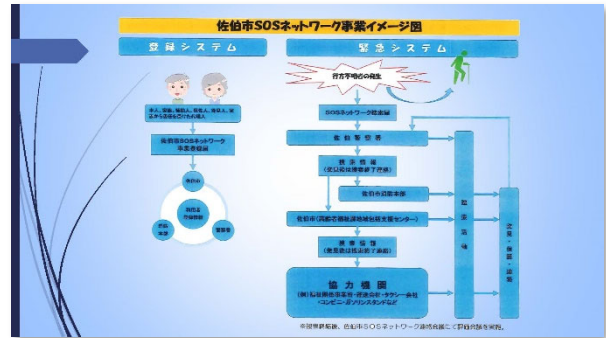
そして、昨年の6月から宮本会長に引き継いだというところで、新たな活動をいたしております。持続可能な活動というところで、今後の活動、抱負のところ、宮本会長からお話とさせていただきたいと思っております。

先ほど映像に映りました、令和3年度、4年度の部会長を務めさせていただいております宮本昌和と申します。よろしくお願いいたします。ここから私が発表させていただきます。まず、大分県安全・安心まちづくり県民大会というものが2021年10月12日にありました。こういった形で、大分県の中の団体が何団体か発表して、いろいろな素晴らしい防犯活動を発表いたしました。その中でも、私たち佐伯法人会青年部が佐伯ながら見守り隊として、大分県知事より表彰を奨励賞ということでいただきました。こちらのほうも新聞に載せさせていただきました。

佐伯市SOSネットワーク事業

- 認知症等の疾病・障がいなどにより、行方不明となるおそれのある方（以下「対象者」と言います。）について、各関係機関とネットワークを構築し、対象者を早期に発見・保護することで、対象者の生命と身体の安全を図ることを目的とした事業です。
- なお、この事業には「登録システム」と「緊急システム」により実施されます。

佐伯市・佐伯警察署・佐伯市消防本部



その次に、活動としまして、佐伯市 SOS ネットワーク事業というものがあまして、私たちが住んでいる佐伯市で認知症などの方が行方不明となったりしたときに、各関係機関とネットワークを構築し、対象者を早期に発見、保護することで、対象者の生命と体の安全を図ることを目的とした事業です。こちらのほうは佐伯市さんが主としてやっていますが、そこで佐伯市、佐伯警察署、佐伯市消防本部、そして各企業の方たちがこちらのほうにネットワークとして参加させていただいております。そして今年、私たちも、ながら見守り隊の趣旨と少し重なる部分がありましたので、お声掛けいただき、こちらの SOS ネットワーク事業に参加させていただいております。

簡単にどういったものか説明させていただきますと、行方不明者のかたがたが、登録されている方たちなんですけども、いなくなったといったときに、すぐに警察の方から連絡が来るようになっております。佐伯市の方からも連絡が来るようになっております。そして、私たち経営者、また従業員の方たちも仕事をしておりますので、仕事しながらでも、車の中から見つけられるような仕組みとして、すぐに連絡が来て、探すような仕組みになっております。そして、その情報も個人情報などが含まれておりますので、見つかった場合など個人情報としてすぐ破棄するような仕組みになっております。それで、少しでも早く発見できるような事業としております。

佐伯市SOSネットワーク事業

調印式 さいき桜まつり会場にて R4.4.2



佐伯市SOSネットワーク事業

認知症サポーター養成講座



先日、さいき桜まつりという祭りが私たちの街ではあるんですけども、そこで佐伯市長と、こちらに写っているんですけども、佐伯警察署長と税務署長も参加していただき、調印式を結ばせていただきました。こちらで佐伯市との連携もあるんですけども、私たちの会の中でも、佐伯市議会議員、県議会議員もメンバーにおりまして、県、市、警察の方、私たちと、すぐに連携を取れる団体ネットワークの仕組みでも全国ではなかなかない団体ではあるのではないかなと思っております。

これも、先日、ネットワーク事業の認知症サポーター養成講座というものがありましたけども、こういったふうに私たちも勉強を養成講座として行っております。



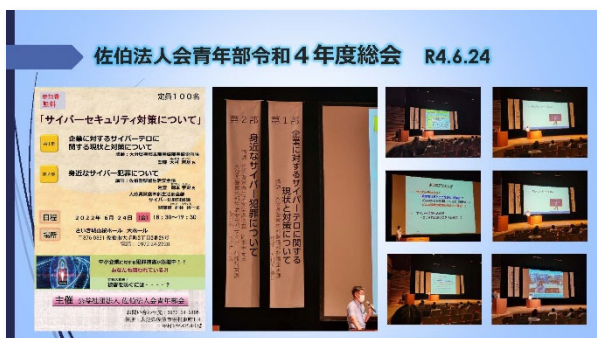
佐伯市出身元プロ野球選手川崎憲次郎さん
佐伯警察署特殊詐欺被害防止啓発アンバサダー就任式



啓発ポスター

こちらは佐伯市出身の元プロ野球選手、川崎憲次郎さん。先ほど皆さまも発表されていましたが、特殊詐欺が最近、多発しているということで、特殊詐欺被害防止啓発アンバサダーに川崎憲次郎元プロ野球選手が就任していただき、そして、私たちは法人会青年部として協力させていただき、ポスターを作るようになりました。また、そのポスターをこの前、警察署長のほうに贈呈してまいりました。

ポスターのほうがこちらですね。ながら見守り隊の活動も中に説明を書いています。高齢者のかたがたが被害によく遭われているということで、電話がかかってきたときに、こういったポスターが電話の近くにあったり、あと、これ、うちわも作っているんですけども、その近くに挿しておけば、少しでも防犯につながるのではないかという思いもありまして、こういったポスターを作らせていただき、贈呈させていただきました。



佐伯法人会青年部令和4年度総会 R4.6.24



佐伯ながら見守り隊

それで、佐伯法人会青年部、この前、6月24日に総会があったんですけども、その中でも総会の記念講演としまして『サイバーセキュリティ対策について』ということで、大分県警の方と佐伯署の方に講演をしていただきました。

私たちの活動は以上です。ご清聴ありがとうございました。

講評

大上 どうもありがとうございました。佐伯ながら見守り隊さんは企業の経営者のかたがたから構成されるということで、さすがに組織力とか資金力、それから実行力、この3つがそろっていて、スケール感が多い活動を展開されているなっていうのが率直な印象です。それから、行政との連携とか、著名人とのタイアップっていうところもすごく印象に残りました。活動の内容も、子供の見守りから特殊詐欺、それから認知症とか、サイバーテロといったようなことで、非常に治安、事象、さまざまなものにわたって活動されているっていうのも大変、感銘、受けました。

柱の取り組みであるドライブレコーダーとか防犯カメラの設置促進、防犯カメラが比較的、少ない佐伯市に見守りの目を増やすために、移動式の防犯カメラともいえるようなドライブレコーダー、380台でよろしいんですかね。これを設置されていると。この380台のドライブレコーダーを搭載した車が佐

伯の町中を走っているっていうことは、防犯カメラが神出鬼没の存在になって、犯罪者にとっては犯行が目撃されるリスクが非常に高まるんじゃないかなって思いました。つまり、犯罪者にとっては非常に犯行を行いにくくなるような状況なのかなって考えました。既にひき逃げ事件の捜査協力も行っているっていう実績もありますので、そういう攻勢、示されているわけなんですけども、今後も不特定の場所で起こるような車上狙いとか、自転車泥棒とか、そうした街頭犯罪にもこの取り組み、非常に効果を上げるんじゃないかなって思っています。

この取り組み、今後、また佐伯市内はもちろん、県内とか九州管内で広く周知されると、さらにこの取り組みの効果が上がるんじゃないかなと思いつつ、聞かせていただきました。私からは以上です。どうもありがとうございました。

発表者 私ども法人会、連合会として、大分県法人会連合会というのを当然、私もしております。一応、私、そこでまた副会長もやっているんですけども、その中で、私、資料を提出した後にメディアに出たんですけども、竹田法人会青年部さんが同じ活動を始められました。法人会の中でも広がりを見せているところです。また、他の単会も今後、検討したいというようなお話はいただいております。

大上 非常に良い連鎖が続きそうで、期待しております。